

リーディングDXスクール事業【実践事例】

石垣市立登野城小学校（沖縄）【指定校】

【取組内容①】子どもたちの主体的な活動を目指した授業改善

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

【共通実践】

1 教師主導の時間を短くし、児童の活動の時間を長く設定する

(1) 目指す児童像を作成・共有

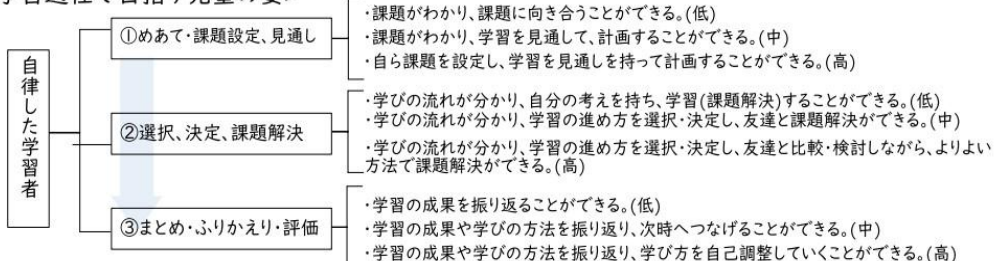
(2) 授業スタイルの共通実践

(3) 自己選択・自己決定の場を増やす

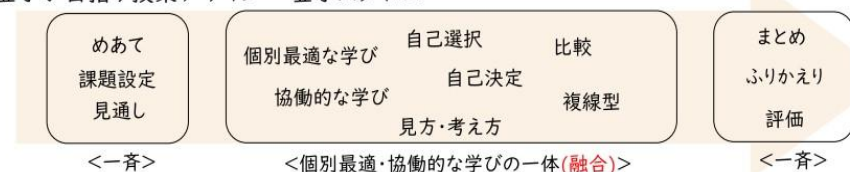
「自律した学習者」

- ① 自ら課題を把握・見出し、(自分なりに)課題解決の見通しを持つことができる。(持つ力)
- ② 学習の仕方(進め方)を選択・決定しながら、自分の学習を調整して学びを進めることができる。(進める力)
- ③ 学習の結果や成果を自己評価して、次の学びへつなげることができる(自己評価する力)(つなぐ力)

<学習過程で目指す児童の姿>



<登小が目指す授業デザイン＝登小スタイル>



授業の様子



「個別最適な学びと協働的な学びの一体化」

左：担任配布の資料で学習を進めることを選択して問題解決へ
 右：2人で情報収集したことを話し合いながら問題解決へ

<児童の変容：学習者視点>

どのように学ばか、誰と学ばかなど、自己選択・自己決定しながら学習を進める姿が見られるようになった。

自分なりに学習を進め、友達と交流しながら問題解決することが増えた。

<教師の変容：授業改善>

Classroomで学習の見通しを持たせ、教科書や資料集、具体物や端末（動画・その他資料）などを活用して、自分たちで学習を進められるような授業づくりを意識することで、子どもたちの主体的な活動につながった。

また、目指す児童像を共有したことで、児童の活動を意識した授業づくりをすることができた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

石垣市立登野城小学校（沖縄）【指定校】

【取組内容②】 問題解決における情報活用能力の育成

情報活用能力の育成

【共通実践】

- ①問題解決における情報活用(収集・整理・伝達)
- ②朝の帯時間を使って**タイピングの練習**

具体的な取り組み

1 問題解決における情報活用

(1) **情報収集の基本**は教科書、各種資料、教師の提示資料

- ①課題解決のためにはどんな情報が必要か、**見方・考え方を意識**させながら、情報収集に向かわせる。
- ②集めた情報や整理した情報を友達と共有するなど、**伝え合うこと**を意識する。

(2)**朝の帯タイム**の時間を使って基本的操作の練習を行う

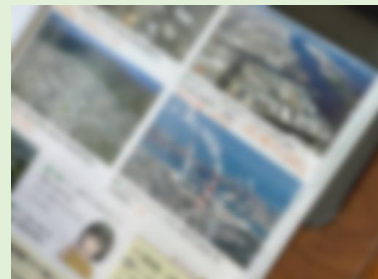
- ①タイピングの練習(キータッチの基本など)
- ②低学年は、端末の扱い方や約束、Classroomへの入り方など

<児童の変容>

問題を解決するためには、何が必要で、どんな情報を使えばいいのかを考えながら、学びを進める姿がある。また、学習したことを伝えるために、集めた情報を整理する力がついてきた。

情報収集

情報収集の基本は教科書から線を引いたり、書き込んだりする。



見方・考え方

情報を集めるときは、見方・考え方を示すことで、焦点を絞ったり、考えをつなげたりできるようにする。



資料

教師の資料は問題解決のための手立てとなるように意識する。

小単元① 地層のつくり

問 地層は一つ一つの層がどのようなものでできているのだろうか。



言語能力

自分なりに問題解決したことを伝えるために情報を書き込んでいく。
この後は、自分の考えを共有する。



リーディングDXスクール事業【実践事例】

石垣市立登野城小学校（沖縄）【指定校】

【取組内容③】校務DX（標準仕様とクラウドを活用し教員の働き方改革につなげる取り組み）

学校の取り組み

【校務DX…クラウドを活用した取り組み】

- ①校内研修
- ②職員会議
- ③連絡ツール：chat
- ④校内OJT

クラウド化による業務改善

○校内研修の資料をクラウド化、他の先生の日頃の授業の様子や端末活用などを載せておくことで、情報共有しやすくなった。時間や場所の制限が減った。

○職員会議のペーパーレス化により、紙代の節約、印刷**準備等の時間短縮**につながった。

○連絡をチャットで行うことで、時間の短縮につながり、**報連相確**がより**スピーディー**かつ記録として残すことができた。

○校務DXが進んだことで、先生方の端末活用の**基本的なスキル**が向上した。

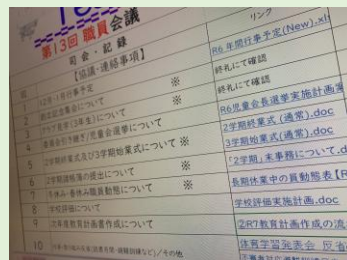
校内研修

- ・授業研究会・資料のクラウド化
- ・授業の様子(動画・写真)をアップ
→授業について話し合い
→担任の授業実践の共有
- ・校内研に広がりが出る。



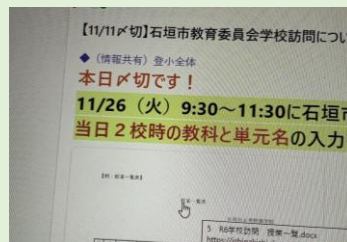
職員会議など

- ・会議資料のクラウド化
- ・ペーパーレス
- ・オンラインによる参加が可能
- ・諸会議などの時間減



連絡ツール

- ・チャット機能
- ・報連相確の速度アップ
- ・情報の共有・記録
- ・連絡の時間や場所を選ばない
- ・登校支援(サポートルーム)の状況・課題の共有



校内OJT(ミニ研修)

- ・ICT支援員によるミニ研修
- ・職員間のOJT→学年での広がり
- ・職員のスキルアップ

